

各フォーマット電文(フォーマット番号1～5)における「略名」「正式名称」を上位から書込むためのコマンド

※通信ポートについて

[7.4.2 モニターデータ読出し] と同じ通信ポートを使用する。通信ポート2(レシピデータ用)、通信ポート3(画像File用)は使用しない。

(通信ポート2、通信ポート3については、[7.2.3 機種情報読出し2] を参照。)

名称書込み要求(上位システム ⇒ 厨房機器)

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	...	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	...	63	64
項目	W	N	sp	sp	sp	sp	0	0	0	1	フォーマット番号	サブ	略名										正式名称										転送KB	
	命令コード部						機器No(右詰)				書込	名称	コマンド拡張部分															1						
長さ	6						4						1	2	20										30									

(注1)

(注2)

名称書込み応答(上位システム ⇐ 厨房機器)

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	...	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	...	63	64
項目	A	N	sp	sp	sp	sp	0	0	0	1	フォーマット番号	サブ	略名										正式名称										検索KB	
	応答	名称	コマンド拡張部分					機器No(右詰)				1	2	20										30										1
長さ	6						4				1			2	20										30									

(注3)

名称書込み要求及び応答のデータ長は、ヘッダ部を含め64バイト。(固定長)

各項目の意味は以下とする。

項目	必須	形式	内容
フォーマット番号	必須	数値	「略名」「正式名称」を変更するフォーマットをの番号(注1)
サブ	必須	数値	フォーマット番号が示すフォーマットのサブ(データの順序を示す連番)
略名	必須	文字列	データ名を表す略称
正式名称	必須	文字列	データ名を表す正式名称
転送KB	必須	S 固定	転送区分。上位から要求された転送区分の形式で応答データを返信する。(注2)参照。
検索KB	必須	F or N or B	「フォーマット番号」「サブ」の有/無を判断する。(注3)参照。

※転送KBは固定の為、転送KBは応答に影響しないが、要求データと応答データのデータ長を合わせるために設けている。

(注1) フォーマット番号とサブによって、書込みを行う「略名」「正式名称」の位置を指定する。

フォーマット番号定義	フォーマット番号	意味
	1	モニタデータフォーマット
	2	設定データフォーマット
	3	レシピ・インデックスフォーマット
	4	レシピ・データフォーマット
	5	制御状況フォーマット

転送KB	設定値の意味
S	シングル転送。機器は上位から要求された「略名」「正式名称」に更新する。

検索KB	設定値の意味
F	上位から要求されたフォーマット番号が示すサブが機器に存在する場合、検索KB=Fとして、名称を返信する。
N	上位から要求されたフォーマット番号及びサブが機器にない場合、検索KB=Nとして、略名/正式名称を空白で充填して返信する。
B	上位から要求されたフォーマット番号及びサブの名称書込みを機器側が禁止している場合、検索KB=Bとして、名称を返信する。

【データ例】 レシピ・インデックスフォーマットの「略名」「正式名称」を書込む場合
 名称書込み要求前のレシピ・インデックスフォーマット、

サブ	変数	開始	長さ	小数	属性	表示F	変更F	略名	正式名称	レシピ名FF	END
01	RCPMN	1	3	0	N	Y	N	レシピNo	レシピNo	N	N
02	RCP	4	3	0	O	Y	Y	レシピ名	レシピ名	Y	N
03	PIC	7	30	0	F	N	Y	画像ファイル	画像ファイル名	N	N
04	CAT1R1	37	18	0	O	Y	Y	季節	季節	N	N
05	CAT1R2	55	18	0	O	Y	Y	調理ランク2	調理方法	N	N
06	CAT2R1	73	18	0	O	Y	Y	食材ランク1	食材分類	N	N
07	CAT2R1	91	18	0	O	Y	Y	食材ランク2	食材名	N	Y

名称書込み要求(WN)
 要求データ部

11	12	13	14	15	16	17	18	19	...	33	34	35	36	37	38	39	40	...	63	64
フォーマット番号	サブ	略名										正式名称								転送KB
1	2	20																		1

11	12	13	14	15	16	17	...	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	...	62	63	64
3	0	4	季	節	sp	sp	季	節	sp	sp									sp	S	

名称書込み応答 (AN)

(機器は指定された略名、正式名称を変更後、上位に返信する。)

11	12	13	14	15	16	17	18	19	...	33	34	35	36	37	38	39	40	...	63	64		
フォーマット番号	サブ	略名										正式名称										転送KB
1	2	20																				1

11	12	13	14	15	16	17	...	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	...	62	63	64
3	0	4	季	節	sp	sp	季	節	sp	sp									sp	F	

名称書込み要求後のレシピ・インデックスフォーマット

サブ	変数	開始	長さ	小数	属性	表示F	変更F	略名	正式名称	レシピ名FF	END
01	RCPNM	1	3	0	N	Y	N	レシピNo	レシピNo	N	N
02	RCP	4	3	0	O	Y	Y	レシピ名	レシピ名	Y	N
03	PIC	7	30	0	F	N	Y	画像ファイル	画像ファイル名	N	N
04	CAT1R1	37	18	0	O	Y	Y	季節	季節	N	N
05	CAT1R2	55	18	0	O	Y	Y	調理ランク2	調理方法	N	N
06	CAT2R1	73	18	0	O	Y	Y	食材ランク1	食材分類	N	N
07	CAT2R1	91	18	0	O	Y	Y	食材ランク2	食材名	N	Y

※上位から要求されたフォーマット番号 及び「サブ」が機器にない場合、

11	12	13	14	15	16	17	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	62	63	64
3	0	8	sp	sp				sp					sp	N							

7.8.2 名称書込み2

設定範囲情報のレシピ分類(MPt=R)やAUTO調理(MPt=A)の設定値範囲(テーブル)を変更するためのコマンド

※通信ポートについて[7.4.2 モニターデータ読出し]と同じ通信ポートを使用する。通信ポート2(レシピ・データ用)、通信ポート3(画像File用)は使用しない。
(通信ポート2、通信ポート3については、[7.1.2機種情報読出し2]を参照。)

名称書込み2要求(上位システム ⇒ 厨房機器)

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	...	52	53
項目	W	N	2	sp	sp	sp	0	0	0	1	変数						調理モード (Key1:No)			No			変数の設定値 (変数により可変、空白で調整)						空白 (30-設定値の長さ)			転送 KB			
	命令コード部			コマンド拡張部分			機器No(右詰)																												
長さ	6						4				(注1) 6						(注2) 3			(注3) 3			30									1			

名称書込み2応答(上位システム ⇐ 厨房機器)

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	...	52	53
項目	A	N	2	sp	sp	sp	0	0	0	1	変数						調理モード (Key1:No)			No			変数の設定値 (変数により可変、空白で調整)						空白 (30-設定値の長さ)			検索 KB			
	命令コード部			コマンド拡張部分			機器No(右詰)																												
長さ	6						4				6						3			3			30									1			

名称書込み2要求及び応答のデータ長は、ヘッダ部を含め53バイト。(固定長)

レシピ分類について

調理方法や食材などのキーワード。[7.6.2 レシピ・インデックスフォーマット] で定義することで、調理方法や食材をキーとしてレシピ・データの抽出、ソートに活用する。

分類名(例:調理方法、食材、季節、)やデータ長は、[7.6.2 レシピ・インデックスフォーマット] にて各メーカー毎に定義する。

データの形式は文字列(W:1バイト文字と2バイト文字の混在可)。範囲KBはテーブル型(T)

AUTO調理について

食材や調理方法、仕上がりなどを設定することで、調理モードや温度、時間などを直接設定しなくても、機器がその調理に適した設定に置き換える方式

[7.6.3 レシピ・データフォーマット] にて定義する。

データの形式は文字列(W:1バイト文字と2バイト文字の混在可)。範囲KBはテーブル型(T)

(注1) レシピ分類の変数名または、AUTO調理の変数名 ([7.6.2 レシピ・インデックスフォーマット])

(注2) レシピ分類または、AUTO調理のテーブルNo. ([7.5.3 設定範囲情報読出し] の22~24バイト目に相当)

(注3) テーブルNo.の中の変更したい設定値をのフィールドを示すNo. ([7.5.2 設定範囲情報読出し]の26~28バイト目に相当)

AUTO調理 (「MPt」=A) の場合の設定範囲情報テーブル
(注1) (注2) (注3)

サブ	変数	Key	調理M	範囲KB	No	設定値	NEXTNO	MPt	END
0001	SCMD	C	000	T	1	予熱		S	N
0002	SCMD	C	000	T	2	熱風		S	N
0003	SCMD	C	000	T	3	コンビ		S	N
0004	SCMD	C	000	T	4	肉	100	A	N
0005	SCMD	C	000	T	5	魚	200	A	N
0006	SCMD	C	100	T	101	肉:照り焼き		A	N
0007	SCMD	C	100	T	102	肉:素焼き		A	N
0008	SCMD	C	100	T	103	肉:薄切り		A	N
0009	SCMD	C	100	T	104	肉:厚切り		A	N
0010	SCMD	C	200	T	201	魚:切り身		A	N
0011	SCMD	C	200	T	202	魚:干物		A	N
0012	SCMD	C	200	T	203	魚:塩焼き		A	N

レシピ分類(「MPt」=R)の場合の設定範囲情報テーブル

(注1) (注2) (注3)

サブ	変数	Key	調理M	範囲KB	No	設定値	NEXTNO	MPt	END
0001	CAT1	M	000	T	1	予熱	100	R	N
0002	CAT1	M	000	T	2	熱風	200	R	N
0003	CAT1	M	000	T	3	コンビ	300	R	N
0004	CAT1	M	000	T	4	肉	400	R	N
0005	CAT1	M	000	T	5	魚	500	R	N
0006	CAT1	M	100	T	101	肉:照り焼き		R	N
0007	CAT1	M	100	T	102	肉:素焼き		R	N
0008	CAT1	M	100	T	103	肉:薄切り		R	N
0009	CAT1	M	100	T	104	肉:厚切り		R	N
0010	CAT1	M	200	T	201	魚:切り身		R	N
0011	CAT1	M	200	T	202	魚:干物		R	N
0012	CAT1	M	200	T	203	魚:塩焼き		R	N
:									

(注4)

転送KB	設定値の意味
S	シングル転送(S固定)。機器は上位から要求された設定値に更新する。

(注5)

検索KB	設定値の意味
F	上位から要求された設定値のフィールドが機器に存在する場合、検索KB=Fとして、設定値を返信する。
N	上位から要求された設定値のフィールドが機器にない場合、検索KB=Nとして、設定値を空白で充填して返信する。
B	上位から要求された設定値のフィールドへの書き込みを機器側が禁止している場合、検索KB=Bとして、設定値を返信する。